

## 医療手話コミュニケーション

責任者・コーディネーター	分子細胞薬理学分野 奈良場 博昭 教授		
担当講座・学科(分野)	分子細胞薬理学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	4・5	区分・時間数	実習 15 時間
期 間	後期		
単 位 数	0.5 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

薬学臨床を学んでいる4、5年生が障害者への対応の重要性を理解することで、薬剤師の役割を再認識することができる。特にこの科目では、聴覚障害者への対応を手話を用いて実践的に行うことにより、ろう者への理解を深め、コミュニケーションツールとしての手話の重要性を学んでいく。

### ・教育成果（アウトカム）

医療従事者として聴覚障害者への対応は、重要となってきた。薬剤師として、聴覚に障害のある患者とのコミュニケーションや服薬指導等において、基本的な手話は重要なツールである。将来、医療現場において活躍する薬剤師として、学生時代から手話などの重要性を理解し、それを身につける体験をすることで、障害者に対応する生涯教育の重要性を知ることができる。  
(ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,)

### ・到達目標（SBO）

1. 障聴覚障害の特徴（聴力、コミュニケーション、教育など）を説明できる。（☆）
2. 障害者権利条約（手話言語条例など）を概説できる。（☆）
3. 聴覚障害ならではの実体験などを理解できる。（☆）
4. 手話で自己紹介（名前や挨拶）をすることができる。（☆）
5. 全日本ろうあ連盟の医療手話の本から単語を表すことができる。（☆）
6. 間違いやすい医療用語を認識できる。（☆）
7. 患者役（ろう者）と対話できる。（☆）
8. 医療現場を想定して手話で自己紹介できる。（☆）
9. 日常会話レベルを手話で実施できる。（☆）
10. 患者との会話の中で出てきた用語を理解できる。（☆）
11. 症状確認など問いかけができる。（☆）
12. 症状の手話表現が実施できる。（☆）
13. 一般的な医薬品の服薬指導を実施できる。（☆）
14. 主に内服薬や外用薬について手話で説明できる。（☆）
15. お薬の説明書を使用しながら手話で説明できる。（☆）
16. 入院患者（臨床）への服薬指導を想定して実施できる。（☆）
17. 主に点滴や注射薬について手話で説明できる。（☆）
18. 門前薬局、ドラッグストア、臨床現場などいくつか場面を設定して手話を実技で実施できる。（☆）

・実習日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
3/5	火	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	聴覚障害者について学ぶ【講義・実演】 ・聴覚障害の特徴（聴力、コミュニケーション、教育など）を説明できる。 ・障害者権利条約（手話言語条例など）を概説できる。 ・聴覚障害ならではのの実体験などを理解できる。 ・学生からの Q&A を受け付ける。 事前学習：障害者権利条約に関して調べておく。 事後学習：授業資料を復習しておく。
3/5	火	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	医療現場での聴覚障害者の状況について理解する【実技】 ・手話で自己紹介（名前や挨拶）をすることができる。 ・手話しか使用できない薬局を体験することで疑似体験を行う。 事前学習：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学習：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/7	木	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	手話学習 医療現場で使われる言葉【実技】 ・全日本ろうあ連盟の医療手話の本から単語を表すことができる。 ・間違いやすい医療用語を認識できる。 事前学習：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学習：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/7	木	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	手話学習 患者面接【実技】 ・患者役（ろう者）と対話できる。 ・医療現場を想定して手話で自己紹介できる。 ・日常会話レベルを手話で実施できる。 ・患者との会話の中で出てきた用語を理解できる。 事前学習：教科書の該当部分を予習しておく。

					事後学習：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/14	木	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	手話学習 症状確認（問診）【実技】 ・「あなたの症状を教えてください」 「どこか違和感ありますか」など問 いかけができる。 ・症状の手話表現が実施できる。 ・患者役（ろう者）に対して自己紹介 と症状確認までを連続で行うことが できる。 事前学習：教科書の該当部分を予習し ておく。 事後学習：授業で学んだ手話の実技を 復習しておく。
3/14	木	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	手話学習 服薬指導①（内服薬・外用 薬編）【実技】 ・一般的な医薬品の服薬指導を実施で きる。 ・主に内服薬や外用薬について手話で 説明できる。 ・お薬の説明書を使用しながら手話で 説明できる。 ・専門用語については、紙を見せなが ら伝えることができる。 事前学習：教科書の該当部分を予習し ておく。 事後学習：授業で学んだ手話の実技を 復習しておく。
3/19	火	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	手話学習 服薬指導②（臨床編）【実 技】 ・入院患者（臨床）への服薬指導を想 定して実施できる。 ・主に点滴や注射薬について手話で説 明できる。 ・専門用語については、紙を見せなが ら伝えることができる。 事前学習：教科書の該当部分を予習し ておく。 事後学習：授業で学んだ手話の実技を 復習しておく。
3/21	木	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 高橋 寛 教授	発表【実技】 ・門前薬局、ドラッグストア、臨床現 場などいくつか場面を設定して手話 を実技で実施できる。 事前学習：発表会に備えて手話の実技 を練習しておく。

					事後学習：発表会の反省点を復習しておく。
--	--	--	--	--	----------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医療の手話シリーズ①「手話で必見！医療のすべて＜外来編＞」	高橋 英孝（監修）	全日本ろうあ連盟 出版局	2006

・成績評価方法

実習態度（50%）および実技発表（50%）から評価する。
------------------------------

・特記事項・その他

この科目では、手話の実技を学びます。授業後に十分に手話の実技を復習することが重要です。事前学習は1コマに対して30分、事後学習は1時間を要する。また、医療手話は、この科目のみで実践的に使いこなすことはできませんが、今後、皆さんが、手話コミュニケーションに興味を持ち、学び続けることが大切であると思います。この科目を履修することで、医療人として、障害者に対応することの必要性を認識し、生涯にわたり学び続けてくれることを期待しています。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	iPad（Apple）	1	スライド投影のため